



# Insightのインストール手順

## OnCommand Insight

NetApp  
October 24, 2024

This PDF was generated from <https://docs.netapp.com/ja-jp/oncommand-insight/install-windows/downloading-the-oncommand-insight-installer.html> on October 24, 2024. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

Insightのインストール手順 .....	1
OnCommand Insight インストーラをダウンロードしています .....	1
OnCommand Insight サーバをインストールしています .....	1
OnCommand Insight Data WarehouseおよびReportingをインストールしています .....	3
Remote Acquisition Unit (RAU) のインストール .....	7
インストールを確認しています .....	9
インストールのトラブルシューティング .....	16

# Insightのインストール手順

のインストールでは、Insight Server、Data WarehouseおよびReportingなど、複数のOnCommand Insightコンポーネントをインストールする必要があります。インストールには、次の主な作業が含まれます。

- OnCommand Insight インストーラをダウンロードしています
- OnCommand Insight サーバをインストールしています
- ライセンスのインストール
- DWHとReportingのインストール（オプション）（別のマシンまたは仮想マシンにインストールする必要があります）
- Remote Acquisition Unit（RAU）のインストール（オプション）。RAUは、ファイアウォールの内側、リモートサイト、またはプライベートネットワークに配置されたデバイスリソースから情報を取得します
- アップグレードの場合は、OnCommand Insight レポートをアップグレードします。

インストールが完了したら、環境に関する情報を取得するようにInsightを設定する必要があります。必要な作業については、\_ OnCommand Insight 構成および管理ガイド\_を参照してください。

## OnCommand Insight インストーラをダウンロードしています

OnCommand Insight インストーラはNetApp Support Site からダウンロードできます。

作業を開始する前に

NetApp Support Site へのログインが必要です "[mysupport.netapp.com](https://mysupport.netapp.com)"。

手順

1. OnCommand Insight をインストールするサーバにログインします。
2. NetApp Support Site からインストールファイルをダウンロードします。

## OnCommand Insight サーバをインストールしています

OnCommand Insight サーバは、OnCommand Insight セットアップウィザードを使用して簡単にインストールできます。

作業を開始する前に

インストールの前提条件をすべて満たしておく必要があります。



OnCommand Insightをアップグレードする場合は、現在のバージョンをアンインストールまたはアップグレードする前に\*ボルトをバックアップする必要があります。

## 手順

1. 管理者権限があるアカウントでInsight Serverにログインします。
2. Windowsエクスプローラを開き、インストールファイルが保存されているディレクトリに移動します。
3. をダブルクリックします .MSI ダウンロードしたファイル。
4. 「\* 次へ \*」をクリックして続行します。
5. ライセンス契約を読み、**[I accept the terms in the License Agreement]\***チェックボックスをオンにして、**[Next]\***をクリックします。
6. **[Customer Information]**ウィンドウに顧客名とサイト名を入力し、**\*[Next]\***をクリックします。

\*ベストプラクティス：\*サイトのプレフィックスとしてお客様名を使用します（例：NetApp）。

7. 管理者パスワードを入力します。パスワードを確認します。
8. **[お客様情報：NetApp ASUPの設定]\***ウィンドウで、次の手順を実行します。
  - a. 次のいずれかのオプションを選択して、ASUPにアップロードするデータが格納されているデータベースを選択します。
    - データベースバックアップなし：バックアップはASUPに送信されません。
    - パフォーマンスデータなしのバックアップ：バックアップを作成してASUPに送信しますが、パフォーマンスデータは含まれません。
    - パフォーマンスデータを使用したバックアップ：パフォーマンスデータを含むバックアップが作成されますが、大量のデータが生成される可能性があります \*.gz ファイル。



ASUPはHTTPSプロトコルを使用して配信されます。

+

- a. **[ログ]\***で、データソースを記録するログなし、ベースログ、拡張ログのいずれかを選択します。
  - b. 「\* 次へ \*」をクリックします。
9. Insightの消費ライセンスモデルを使用している場合は、セクションの**[使用状況情報をネットアップに送信する]\***チェックボックスをオンにする必要があります。
  10. 「\* 次へ \*」をクリックします
  11. **[サーバの設定]**ウィンドウで、OnCommand Insight サーバを設定するための適切な設定パラメータを選択または設定します。

オプション	説明
ポータルポート（HTTP）	ユーザのWebサービス（管理タスクを実行するためのポータルなど）をサポートするためにOnCommand Insight サーバで使用されるポート。デフォルト（80）を使用します。ただし、デフォルトポートが使用中の場合は、別のポートに変更します。

ポータルポート (HTTPS)	Remote Acquisition Unitで、セキュアなチャネル経由でOnCommand Insight サーバにSAN変更情報を送信するために使用するポート。デフォルト (443) を使用します。ただし、デフォルトポートが使用中の場合は、別のポートに変更します。RAUの設定時に同じポート番号を指定します。
内部データベースポート (SQL)	OnCommand Insight サーバが実行されているPCによって内部的に使用されるポート。データベースへのアクセスポイントとして機能します。デフォルト (3306) を使用します。ただし、デフォルトポートが使用中の場合は、別のポートに変更します。

12. 「\* 次へ \*」をクリックします。

13. 続行するには\*[インストール]\*をクリックしてください。

インストールには約20分かかります (インストールされているアプリケーションによって異なります)。

14. [完了] をクリックします。

15. Remote Acquisition Unit (RAU) をインストールする場合は、SecurityAdmin Toolを実行して \_acquisition\_user のパスワードを作成する必要があります。このパスワードは、RAUのインストール時に必要になります。

注: このパスワードを作成した場合は、以下に示すようにサーバーとRAUを同期する必要はありません。

## サーバをDWHおよびRAUと同期



Remote Acquisition UnitやData Warehouseのインストールが完了したら、RAU / DWH をOnCommand Insightサーバと同期する必要があります。以下の手順に従います。

"サーバとRAUの同期 (Windows) "

"サーバとDWHの同期 (Windows) "

"サーバとRAUの同期 (Linux) "

"サーバとDWHの同期 (Linux) "

## OnCommand Insight Data WarehouseおよびReportingをインストールしています

インストールは自己完結型で、OnCommand Insight Data Warehouse (DWH) およびReportingユーティリティの実行と運用に必要な要素が含まれています。

## 作業を開始する前に

インストールまたはアップグレードを行う前に、以下の点に注意してください。

- アップグレードする場合は、DWHをバックアップします。
- Reportingを使用してOnCommand Insight Data Warehouseをインストールするには、`localadministrator`権限が必要です。
- Windows Modules Installerサービスが有効になっていることを確認します(自動または手動)。
- C:ドライブ以外にインストールする場合は、短いファイル名を有効にする必要があります。有効になっていない場合は、インストーラによって有効になります。
- DB2コンポーネントの場合、DB2 Userには `_DOMAIN_USER` または `_LOCAL_USER` を指定できます。
  - DB2ユーザが `A_DOMAIN_USER` の場合は、次の情報が必要です。
    - DB2ユーザを作成しておく必要があります。また、ユーザ名とパスワードを確認しておく必要があります
    - DWHとReportingをインストールするユーザは、DB2ユーザを照会できる必要があります。これを検証するには、次のコマンドを使用します。
      - `net user <db2 user name> /domain`
  - DB2ユーザが `A_LOCAL_USER` の場合は、次の情報が必要です。
    - DB2 Userとして実行するユーザのユーザ名とパスワード。このユーザが存在しない場合は、インストールによって作成されます。
  - 注

DB2ユーザ名およびWindowsログイン名には、次の制限があります。\*有効な文字は、「A」「Z」「a」「z」、「0」～「9」、「@」、「\_」、「!」、「(';')」、「{';}」、「および「.」です。\*特殊文字「!';'(';')';'{';}';'」、「-」、および「。」ユーザ名にはすべて大文字を使用する必要があります。\*文字列の最初の文字は、アルファベット、@、#、または\$である必要があります。数字または文字列 `_SYS`、`DBM`、または `_IBM` を使用することはできません。128バイトを超えることはできません。\*ユーザー、管理者、ゲスト、パブリック、ローカル、またはSQL予約語は使用できません。

- DB2ユーザを、インストールを実行するユーザと同じにすることはできません。

## 手順

1. 管理者権限があるアカウントでData Warehouseサーバにログインします。
2. Data WarehouseとReporting.zipファイルをダウンロードし、インストールフォルダにファイルを展開します。
3. <download location> \OCI\_DWH\_installer\ フォルダに移動し、\_install\_oci\_dwh.bat\_scriptを実行します。



OnCommand Insight 7.3.10以降では、DWH / Reportingを適切にインストールするためのスクリプトを実行する必要があります。.msiインストール実行ファイルを実行しないでください。

4. DB2ドメインを入力するか、Enterキーを押してローカル・ドメインを入力します。

5. DB2ユーザー名を入力します。ユーザー名の制限については、上記を参照してください。
6. DB2ユーザのパスワードを入力します。プロンプトが表示されたら、パスワードを再入力します。
7. DB2コンポーネントのインストールパスを入力するか、デフォルトの場合はEnterキーを押します。
8. 入力した情報が表示されます。すべての設定を慎重に確認してください。Enterキーを押してインストールを開始します。
9. プロンプトが表示されたら、WindowsがDB2のインストールを続行できるようにします。
10. DB2のインストールに続いて、DWHのインストールウィザードが実行されます。指示に従って、DWHとReportingをインストールします。

Data WarehouseとReportingのインストールが完了するまでに最大1時間かかることがあります。

## サーバとDWHの同期



Data Warehouseをインストールしたら、Data WarehouseとOnCommand Insightサーバを\*同期する必要があります\*。次の手順を実行します。

1. OnCommand Insightサーバーシステムで、\* SecurityAdmin\*ツールをインタラクティブモードで起動します。

```
securityadmin -i
. _inventory_and_dwh_internal_users
```

のパスワードを任意のパスワードに変更します。\*以下に記載する必要があるため、これらのパスワードをメモしておいてください。

```
. DWHサービスを再開します。
. オン*各コネクタ*では、*
```

SecurityAdmin\*ツールをインタラクティブモードで起動します。上記の手順2でメモしたパスワードが必要になります。

```
securityadmin -i
. _inventory_and_dwh_internal_usersのパスワードを手順
```

2で使ったパスワードに変更します。

```
. コネクタのサービスを再起動します。
. 手順2で _inventory_and_dwh_internal_users
```

のパスワードを使用して、コネクタをDWHに追加します。

## IBM Cognosのドキュメントを参照してください

Reporting Portalソフトウェアを開始および停止する方法など、基本的な情報については、製品とともにインストールされるIBM Cognosのドキュメントを参照してください。Query Studio、Report Studio、Business Insight、Business Insight Advancedなど、IBM Cognosのレポート製品に関する情報は、WebブラウザでIBMのWebサイトのInformation Centerで検索できます。

## 手順

1. OnCommand Insight とともにインストールされるIBM Cognosのドキュメントを参照するには、このディレクトリに移動します。

```
<install_dir>\>\cognos\c10_64\webcontent\documentation\help_docs.html
```

2. また、OnCommand Insight Reportingポータルで使用されるIBM Cognosの個々のウィンドウについて説明したトピックも表示できます。ウィンドウツールバーの\*?\*アイコンをクリックします。

## Data WarehouseとReportingのインストールを確認しています

OnCommand Insight Data Warehouseのインストールが完了したら、DWHサービスとReportingサービスをすべてMicrosoft Windowsサービスで 사용할 수 있는ことを確認する必要があります。

## 手順

1. Windowsの[スタート]メニューから、[コントロールパネル]>[システムとセキュリティ]>[管理ツール]>[サービス]の順に選択します。
2. サービスのリストに次のエントリが表示されていることを確認します。

名前/都道府県	説明
• SANscreen サーバ/実行中*	OnCommand Insight DWHサーバ
• MySQL /実行中*	OnCommand Insight SQLデータベース
• IBM Cognos / Running *	IBM Cognos Content Databaseの略
• DB2-DB2COPY1-DB2-0/Running *	DB2データベースを管理します
• DB2 Governor (DB2COPY1) /実行されていません*	DB2データベースに接続されているアプリケーションの統計情報を収集します。
• DB2 License Server (DB2COPY1) /実行されていません*	DB2ライセンスコンプライアンスを監視します。
• DB2 Management Service (DB2COPY1) /実行中*	以前のバージョンのDB2コピーとの互換性のために、DB2レジストリエントリを管理します。
<b>DB2リモートコマンドサーバ (DB2COPY1) /実行中</b>	リモートDB2コマンドの実行をサポートします。
• IBM Secure Shell Server for Windows / Not Running*	IBM Secure Shell Server for Windowsの略



# Remote Acquisition Unit (RAU) のインストール

OnCommand Insight 環境に1つ以上のRAUをインストールします。

## 作業を開始する前に

インストールの前提条件をすべて満たしておく必要があります。

変更情報をサーバに転送するには、少なくとも1つのポートが開いていて、RAUサーバとOnCommand Insightサーバの間で使用可能である必要があります。不明な場合は、RAUコンピュータでWebブラウザを開き、OnCommand Insight サーバに移動して検証します。

```
https://< OnCommand Insight Server hostname >:< acquisition_port >
```

Acquisitionのデフォルトポートは443ですが、サーバのインストール時に変更されている可能性があります。接続に成功すると、OnCommand Insight 応答ページが表示され、RAUとOnCommand Insight サーバの間でポートが開いて使用可能になったことが示されます。

## 手順

1. 管理者権限があるアカウントでRAUサーバにログインします。
2. エクスプローラを開き、RAUインストールファイルが格納されているディレクトリに移動します。
3. をダブルクリックします .MSI ファイルをクリックしてインストールを開始します。
4. をクリックして、ライセンス契約のウィンドウに進みます。これを読んでライセンス契約の条項に同意し、[次へ]\*をクリックします。
5. RAUをローカルハードドライブにインストールするか、機能全体をローカルハードドライブにインストールするかを選択します。（[Disk Usage]リンクをチェックして、十分なスペースがあることを確認できます。116MBが必要です）。[次へ]\*をクリックします。
6. [構成]ウィンドウで、サイトに固有の次のパラメータを設定します。
  - \* OnCommand Insight \*サーバー名またはアドレス- OnCommand Insight サーバーを識別するホスト名またはIPアドレス。RAUはこの名前/ IPを使用してサーバとの通信リンクを開きます。ホスト名を指定する場合は、DNSで解決できることを確認してください。
  - \* Acquisition Unit Name \*- RAUを識別する一意の名前。
  - \* OnCommand Insight Secured Remote Acquisition Port (HTTPS) \*- Remote Acquisition Unitが環境の変更情報をOnCommand Insight サーバに送信するために使用するポート。この設定は、OnCommand Insight サーバのインストール時に入力した値と一致し、すべてのRAUで同じである必要があります。
  - \_acquisition\_userパスワードを入力します。
7. 選択内容を確認します。前に戻って変更を行うには、\*[戻る]\*をクリックします。「\* 次へ \*」をクリックします。
8. [インストール]\*をクリックしてインストールを開始します。

インストールが完了するまで待ちます。この処理には約5～10分かかります。

## 完了後

インストールが完了すると、最後のウィンドウが表示されます。[Start Remote Acquisition Service]\*ボックスをクリックしてRAUを開始し、[Finish]\*をクリックしてこの処理を終了します。

データの取得が開始されたら、設定は完了です。以下に示すように、サーバとRAUを同期する必要はありません。

## サーバとRAUの同期



Remote Acquisition Unitのインストール後にデータの取得が開始されない場合は、OnCommand InsightサーバとRAUを同期します。次の手順を実行します。

1. OnCommand Insightサーバーシステムで、\* SecurityAdmin\*ツールをインタラクティブモードで起動します。

```
securityadmin -i
```

- ・ Insight Serverの `_acquisition_user` のパスワードを任意のパスワードに変更します。\*以下で必要となるため、このパスワードをメモしておいてください\*。
- ・ サーバ/LAUを再起動します。
- ・ Remote Acquisition Unit (RAU) システムで、\* SecurityAdmin \*ツールを対話型モードで起動します。上記の手順2でメモしたパスワードが必要になります。

```
securityadmin -i
```

- ・ `_acquisition_user` のパスワードを手順2で使ったパスワードに変更します。
- ・ RAUを再起動します。

## Remote Acquisition Unitサービスを確認しています

Remote Acquisition Unit (RAU) のインストールが完了すると、OnCommand Insight RAUサービスをMicrosoft Windowsサービス環境でできるようになります。

### 手順

1. RAUがWindowsサービスに追加されたことを確認するには、Windowsの[スタート]メニューを開き、[コントロールパネル]>\*>[サービス]\*を選択します。
2. リストから\*「OnCommand Insight Acq - OnCommand Insight's Remote Acquisition Unit (RAU)」\*を探します。

## Remote Acquisition Unitのインストールを検証しています

Remote Acquisition Unitが適切にインストールされていることを確認するために、サーバに接続されているRemote Acquisition Unitのステータスを表示できます。

## 手順

1. Insightのツールバーで、\*[Admin]\*をクリックします。
2. Acquisition Units \*をクリックします。
3. 新しいRemote Acquisition Unitが正しく登録され、ステータスが「Connected」になっていることを確認します。

表示されない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## インストールを確認しています

サポートされているブラウザでInsightを開くと、インストールされているかどうかを確認できます。Insightのログファイルを確認することもできます。

Insightを初めて開いたときに、ライセンスのセットアップページが開きます。ライセンス情報を入力したら、データソースを設定する必要があります。データソース定義の入力、およびOnCommand Insight のユーザと通知の設定については、\_ Configuration and Administration Guide \_を参照してください。

インストール時に問題が発生した場合は、テクニカルサポートに連絡して、必要な情報を提供してください。

## 新しいInsightサービスを確認しています

インストールが完了したら、サーバでInsightコンポーネントのサービスが動作していることを確認する必要があります。

## 手順

1. 現在動作しているサービスのリストを表示するには、次の手順を実行します。
  - a. [スタート]ボタンをクリックします。
  - b. [ ファイル名を指定して実行 ] をクリック
  - c. 次のように入力します。

```
cmd
```

- d. Enter キーを押します。
- e. [コマンドプロンプト]ウィンドウで次のように入力します。

```
net start
```

2. 次のInsightサービスがリストに表示されているかどうかを確認します。
  - \* SANscreen サーバ\*
  - \* SANscreen Acq\* (取得プロセス)
  - \* MySQL \* (Insight SQLデータベース)
  - \* Elasticsearch \* (Insightデータ用のデータストア) これらのサービスがリストに表示されない場合は、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## Insightのログ

Insightには、調査やトラブルシューティングに役立つ多数のログファイルが用意されています。使用可能なログは、logディレクトリに一覧表示されます。BareTailなどのログ監視ツールを使用すると、すべてのログを一度に表示できます。

ログファイルはにありますが <install directory>\SANscreen\wildfly\standalone\log ディレクトリ。収集ログはにありますが <install directory>\SANscreen\Acq\Log ディレクトリ。

## Web UIへのアクセス

OnCommand Insight をインストールしたら、ライセンスをインストールし、環境を監視するようにInsightをセットアップする必要があります。そのためには、Webブラウザを使用してInsight Web UIにアクセスします。

### 手順

1. 次のいずれかを実行します。

- InsightサーバでInsightを開きます。

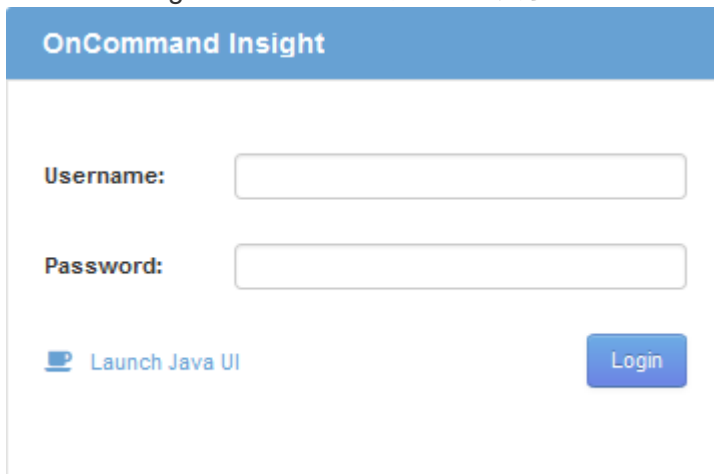
`https://fqdn`

- その他の場所からInsightを開きます。

`https://fqdn:port`

ポート番号には、443またはInsight Serverのインストール時に設定した別のポートを指定します。URLで指定しない場合、ポート番号はデフォルトで443になります。

OnCommand Insight ダイアログボックスが表示されま

The image shows a web browser window displaying the OnCommand Insight login page. The page has a blue header with the text "OnCommand Insight". Below the header, there are two input fields: "Username:" and "Password:". Below the "Password:" field, there is a link that says "Launch Java UI" with a small icon. To the right of the "Launch Java UI" link, there is a blue button labeled "Login". The entire form is enclosed in a light gray border.

す。

2. ユーザー名とパスワードを入力し、\* Login \*をクリックします。

ライセンスがインストールされている場合は、データソースのセットアップページが表示されます。



Insightのブラウザセッションが30分間アクティブでないとタイムアウトになり、システムから自動的にログアウトされます。セキュリティを強化するために、Insightからログアウトしたあとにブラウザを閉じることを推奨します。

## Insightのライセンスをインストールします

Insightのライセンスキーが格納されたライセンスファイルをネットアップから受け取ったら、セットアップ機能を使用してすべてのライセンスを同時にインストールできます。

このタスクについて

Insightのライセンスキーはに格納されます .txt または .lcn ファイル。

手順

1. ライセンスファイルをテキストエディタで開き、テキストをコピーします。
2. ブラウザでInsightを開きます。
3. Insightのツールバーで、\*[Admin]\*をクリックします。
4. [設定]\*をクリックします。
5. [ライセンス]タブをクリックします。
6. [ \* ライセンスの更新 \* ] をクリックします。
7. ライセンスキーのテキストを\* License \*テキストボックスにコピーします。
8. [更新（最も一般的な）]\*操作を選択します。
9. [保存（ Save ）] をクリックします。
10. Insightの消費ライセンスモデルを使用している場合は、セクションの[使用状況情報をネットアップに送信する]\*チェックボックスをオンにする必要があります。プロキシが適切に設定され、環境に応じて有効になっている必要があります。

完了後

ライセンスをインストールしたら、次の設定作業を実行できます。

- データソースを設定します。
- OnCommand Insight ユーザアカウントを作成します。

## OnCommand Insight ライセンス

OnCommand Insight は、Insight Serverで特定の機能を有効にするライセンスで動作します。

- \* 発見 \*

Discoverは、インベントリをサポートするInsightの基本ライセンスです。OnCommand Insight を使用するにはDiscoverライセンスが必要です。また、DiscoverライセンスをAssure、Perform、またはPlanの少な

くとも1つのライセンスと組み合わせて使用する必要があります。

- 保証

Assureライセンスは、グローバルパスポリシーやSANパスポリシー、違反管理などの保証機能をサポートします。脆弱性を表示および管理するには、Assureライセンスも必要です。

- 実行

Performは、アセットページ、ダッシュボードウィジェット、クエリなどでのパフォーマンス監視、およびパフォーマンスポリシーや違反の管理をサポートするライセンスです。

- 計画

Planライセンスは、リソースの使用状況や割り当てなどの計画機能をサポートします。

- \* Host Utilization Pack \*

Host Utilizationライセンスは、ホストおよび仮想マシンでのファイルシステムの使用をサポートします。

- レポートオーサリング

Report Authoringライセンスでは、レポートの作成者を追加できます。このライセンスにはPlanライセンスが必要です。

OnCommand Insight モジュールのライセンスは、年間または無期限で提供されます。

- Discover、Assure、Plan、Performモジュールの監視対象容量（テラバイト）
- Host Utilizationパックのホスト数
- Report Authoringに必要なCognos Pro-Authorsの追加単位数

ライセンスキーは、顧客ごとに生成される一意の文字列のセットです。ライセンスキーは、OnCommand Insight の担当者から入手できます。

インストールされているライセンスによって、ソフトウェアで利用できる次のオプションが制御されます。

- \* 発見 \*

インベントリの取得と管理（基盤）

変更を監視し、インベントリポリシーを管理します

- 保証

SANパスのポリシーや違反を表示および管理します

脆弱性を確認および管理します

タスクと移行を表示および管理します

- 計画

リクエストを表示および管理します

保留中のタスクを表示および管理します

リザーベーション違反を表示および管理します

ポートバランス違反を表示および管理します

- 実行

パフォーマンスデータ（ダッシュボードウィジェット、アセットページ、クエリのデータなど）を監視します

パフォーマンスポリシーや違反を表示および管理します

次の表に、adminユーザとadmin以外のユーザについて、Performライセンスがある場合とない場合に使用できる機能の詳細を示します。

機能（admin）	Performライセンスあり	Performライセンスなし
アプリケーション	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
仮想マシン	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ハイパーバイザー	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ホスト	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
データストア	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
VMDK です	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
内部ボリューム	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ボリューム	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ストレージプール	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません

ディスク	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ストレージ	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ストレージノード	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ファブリック	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
スイッチポート	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません。「Port Errors」には「N/A」と表示されます。
ストレージポート	はい。	はい。
NPVポート	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
スイッチ	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
NPVスイッチ	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
qtree	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
クォータ	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
パス	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ゾーン	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ゾーンメンバー	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
汎用デバイス	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません



テープ	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
マスキング	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
iSCSIセッション	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
ICSIネットワークポータル	はい。	パフォーマンスデータやグラフはありません
検索	はい。	はい。
管理	はい。	はい。
ダッシュボード	はい。	はい。
ウィジェット	はい。	一部使用可（アセット、クエリ、管理の各ウィジェットのみ使用可能）
違反ダッシュボード	はい。	非表示
アセットダッシュボード	はい。	一部使用可（ストレージIOPSとVM IOPSのウィジェットは非表示）
パフォーマンスポリシーの管理	はい。	非表示
アノテーションを管理します	はい。	はい。
アノテーションルールを管理します	はい。	はい。
アプリケーションを管理します	はい。	はい。
クエリ	はい。	はい。
ビジネスエンティティの管理	はい。	はい。

フィーチャー（Feature）	ユーザ- Performライセンスあり	ゲスト- Performライセンスあり	ユーザ- Performライセンスなし	ゲスト- Performライセンスなし
-----------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

アセットダッシュボード	はい。	はい。	一部使用可（ストレージIOPSとVM IOPSのウィジェットは非表示）	一部使用可（ストレージIOPSとVM IOPSのウィジェットは非表示）
カスタムダッシュボード	表示のみ（作成、編集、保存のオプションはありません）	表示のみ（作成、編集、保存のオプションはありません）	表示のみ（作成、編集、保存のオプションはありません）	表示のみ（作成、編集、保存のオプションはありません）
パフォーマンスポリシーの管理	はい。	非表示	非表示	非表示
アノテーションを管理します	はい。	非表示	はい。	非表示
アプリケーションを管理します	はい。	非表示	はい。	非表示
ビジネスエンティティの管理	はい。	非表示	はい。	非表示
クエリ	はい。	表示と編集のみ（保存オプションなし）	はい。	表示と編集のみ（保存オプションなし）

## インストールのトラブルシューティング

OnCommand Insight のインストールは、通常、インストールウィザードを使用して管理します。ただし、コンピュータ環境によっては、アップグレード中に問題が発生したり、競合が発生したりする可能性があります。

また、ソフトウェアのインストールに必要なOnCommand Insight ライセンスがすべてインストールされていることを確認する必要があります。

### ライセンスがありません

OnCommand Insight 機能ごとに異なるライセンスが必要です。OnCommand Insight に表示される内容は、インストールされているライセンスによって制御されます。各ライセンスで制御される機能については、「OnCommand Insight ライセンス」セクションを参照してください。

各ライセンスで制御される機能については、「OnCommand Insight ライセンス」セクションを参照してください。

### オンラインテクニカルサポートリクエストの送信

Insightのインストールで問題が発生した場合は、サポートに登録しておくオンライン

のテクニカルサポートリクエストを送信できます。

作業を開始する前に

オンラインサポートサービスを利用するには、会社のEメールアドレスを使用してサポートカスタマーとして登録する必要があります。登録はサポートサイトで行います。

このタスクについて

カスタマーサポートがインストールの問題を解決できるようにするには、次の項目を含め、できるだけ多くの情報を収集する必要があります。

- Insightのシリアル番号
- 問題の概要
- Insightのすべてのログファイル
- エラーメッセージのスクリーンキャプチャ

手順

1. を作成します .zip トラブルシューティングパッケージを作成するために収集した情報のファイル。
2. サポートサイトにログインします "[mysupport.netapp.com](https://mysupport.netapp.com)" をクリックし、\* Technical Assistance \*を選択します。
3. [ケースを開く]\*をクリックします。
4. データのパッケージの指示に従ってください。

完了後

[Technical Assistance]ページの[Check Case Status]\*を使用して、リクエストに従うことができます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。